

青森県景気ウォッチャー調査

(平成14年4月期)

調査期間 平成14年4月1日～15日

回答率 91%

平成14年4月	D I 値	概況
3ヶ月前と比べた景気の現状判断D I	37.6	4期連続して50を下回った
3ヵ月後の景気の先行き判断D I	43.7	4期連続して50を下回った

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断D I

<p>県全体の動向 「悪くなっている」、「やや悪くなっている」が前期より減少し、「変わらない」が増加し、前回よりも10.8ポイント増の37.6となり、調査開始以降、4期(テストラン含む)連続して横ばいを示す50を下回った。 判断理由をみると、一部で売上がやや回復しているとの声があるものの、「客単価の低下傾向」、「雇用環境の悪さ」が多く挙げられていた。</p>
<p>分野別の動向 前期調査に比べて、全般的に上昇した。特に家計関連(住宅)、企業関連の上昇幅が大きい。</p>
<p>地区別の動向 前期調査に比べて、全地区で上昇した。水準でみると津軽地区が最も高く、県南地区が最も低かった。</p>

(2) 3ヵ月後の景気の先行き判断D I

<p>県全体の動向 「悪くなっている」が減少した一方、「変わらない」が増加し、前期調査に比べると、11.2ポイント増の43.7となり、調査開始以降、4期(テストラン含む)連続して横ばいを示す50を下回った。 判断理由をみると、「景気回復材料の不足」を挙げ、先行きが不透明であることを懸念する声が多い。暖冬による観光シーズンのずれ込みを心配する声も挙げられている。</p>
<p>分野別の動向 前期調査に比べて、家計関連(住宅)、企業関連が大きく上昇している。</p>
<p>地区別の動向 前期調査に比べて、全地区で上昇した。最も上昇幅の大きかったのは県南地区であるが、水準では引き続き津軽地区が最も高かった。</p>

平成14年5月

青森県企画振興部統計情報課

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合計	28.8	22.0	26.8	37.6
家計関連	32.7	24.3	30.6	38.1
小売	30.0	23.3	28.6	36.5
飲食	31.3	15.9	43.8	41.7
サービス	37.0	27.8	28.8	38.0
住宅	29.2	29.2	20.8	37.5
企業関連	12.5	6.9	11.1	36.1
雇用関連	28.6	35.7	28.6	37.5

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.0	34.0	38.0	25.0
平成13年10月	1.0	1.0	19.2	42.4	36.4
平成14年 1月	0.0	8.2	22.7	37.1	32.0
平成14年 4月	1.1	7.7	45.1	33.0	13.2

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合計	34.5	28.8	32.5	43.7
家計関連	36.0	29.1	32.6	42.2
小売	33.3	21.7	30.4	38.5
飲食	22.9	36.4	35.4	41.7
サービス	44.4	33.3	34.6	44.6
住宅	37.5	33.3	29.2	50.0
企業関連	25.0	23.6	27.8	47.2
雇用関連	42.9	39.3	42.9	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	6.0	46.0	28.0	20.0
平成13年10月	1.0	3.0	28.3	45.5	22.2
平成14年 1月	0.0	4.1	46.4	24.7	24.7
平成14年 4月	0.0	9.9	61.5	22.0	6.6

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合計	31.7	23.3	23.3	37.0
家計関連	34.8	25.0	25.0	38.8
小売	33.3	30.6	25.0	39.3
飲食	33.3	16.7	33.3	50.0
サービス	38.9	19.4	22.2	37.5
住宅	25.0	37.5	25.0	25.0
企業関連	12.5	6.3	6.3	37.5
雇用関連	33.3	33.3	33.3	25.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	0.0	53.3	20.0	26.7
平成13年10月	0.0	0.0	23.3	46.7	30.0
平成14年 1月	0.0	0.0	30.0	33.3	36.7
平成14年 4月	0.0	11.1	44.4	25.9	18.5

< 津軽地区 >

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合計	32.5	23.3	34.5	42.3
家計関連	37.5	25.0	41.7	40.8
小売	30.6	30.6	44.4	43.8
飲食	41.7	8.3	41.7	41.7
サービス	43.8	25.0	46.4	37.5
住宅	37.5	25.0	12.5	37.5
企業関連	12.5	12.5	8.3	45.8
雇用関連	37.5	37.5	37.5	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	6.7	30.0	50.0	13.3
平成13年10月	0.0	3.3	16.7	50.0	30.0
平成14年 1月	0.0	20.7	20.7	34.5	24.1
平成14年 4月	3.8	11.5	42.3	34.6	7.7

< 県南地区 >

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合 計	20.8	18.3	22.4	34.8
家計関連	23.8	21.4	25.0	35.5
小売	25.0	11.1	15.6	34.4
飲食	8.3	16.7	66.7	33.3
サービス	28.6	35.7	17.9	33.3
住宅	25.0	25.0	25.0	50.0
企業関連	14.3	3.6	17.9	28.6
雇用関連	12.5	37.5	12.5	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.3	13.3	46.7	36.7
平成13年10月	3.3	0.0	13.3	33.3	50.0
平成14年 1月	0.0	6.9	13.8	41.4	37.9
平成14年 4月	0.0	3.6	46.4	35.7	14.3

< 下北地区 > (参考)

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合 計	32.5	25.0	27.8	35.0
家計関連	36.1	28.1	31.3	36.1
小売	33.3	16.7	25.0	16.7
飲食	41.7	25.0	33.3	41.7
サービス	33.3	41.7	33.3	50.0
住宅	-	-	-	-
企業関連	0.0	0.0	0.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	0.0	50.0	30.0	20.0
平成13年10月	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
平成14年 1月	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2
平成14年 4月	0.0	0.0	50.0	40.0	10.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合 計	37.5	28.3	30.8	42.6
家計関連	38.0	30.4	31.5	41.3
小売	33.3	25.0	19.4	46.4
飲食	33.3	50.0	41.7	25.0
サービス	47.2	27.8	38.9	43.8
住宅	25.0	37.5	37.5	37.5
企業関連	25.0	12.5	12.5	43.8
雇用関連	50.0	33.3	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.3	56.7	26.7	13.3
平成13年10月	0.0	3.3	23.3	56.7	16.7
平成14年 1月	0.0	3.3	43.3	26.7	26.7
平成14年 4月	0.0	7.4	66.7	14.8	11.1

< 津軽地区 >

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合 計	40.0	35.8	39.7	46.2
家計関連	39.8	34.1	39.3	44.7
小売	33.3	33.3	41.7	34.4
飲食	41.7	41.7	41.7	50.0
サービス	43.8	34.4	42.9	54.2
住宅	50.0	25.0	12.5	50.0
企業関連	37.5	37.5	37.5	50.0
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	10.0	53.3	23.3	13.3
平成13年10月	0.0	3.3	50.0	33.3	13.3
平成14年 1月	0.0	10.3	51.7	24.1	13.8
平成14年 4月	0.0	15.4	57.7	23.1	3.8

< 県南地区 >

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合計	27.5	26.7	27.6	42.9
家計関連	31.0	27.4	28.8	40.8
小売	36.1	11.1	28.1	37.5
飲食	0.0	41.7	25.0	50.0
サービス	35.7	39.3	28.6	33.3
住宅	37.5	37.5	37.5	62.5
企業関連	17.9	21.4	25.0	46.4
雇用関連	25.0	37.5	25.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.3	33.3	33.3	30.0
平成13年10月	3.3	3.3	16.7	50.0	26.7
平成14年 1月	0.0	0.0	44.8	20.7	34.5
平成14年 4月	0.0	10.7	53.6	32.1	3.6

< 下北地区 > (参考)

DI

	平成13年		平成14年	
	7月	10月	1月	4月
合計	30.0	13.9	30.6	42.5
家計関連	33.3	15.6	28.1	41.7
小売	25.0	8.3	37.5	33.3
飲食	16.7	0.0	33.3	41.7
サービス	58.3	33.3	16.7	50.0
住宅	-	-	-	-
企業関連	0.0	0.0	50.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	10.0	30.0	30.0	30.0
平成13年10月	0.0	0.0	11.1	33.3	55.6
平成14年 1月	0.0	0.0	44.4	33.3	22.2
平成14年 4月	0.0	0.0	80.0	10.0	10.0

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	津軽	一般小売店	売上が前回(10~12月)は前年比でほんの少しの伸びだったが、今回(1~3月)は当社3店合計で120%近くに上昇しているため。
やや良くなっている	家計	東青	衣料専門店	暖かい陽気のせい、季節の先物を購販する顧客が増加している。
			レストラン	その時期によると思う。年末はクリスマスなど団体で動くが、1・2月は雪のためか客足がにぶる。雪がとけ春になると、また、動き始めるが、花見などはあまり良くないと思う。
			美容院	季節的に春になり、気分的に明るくなっている感じがする。新規のお客様が、以前より目につくようになった気がする。
	企業	津軽	百貨店	売上も回復基調になりつつある。低単価傾向ではあるが、品質本位の購入が増えていると思われる。
			レストラン	季節的な条件による。12月は良、1月中位、2月悪化、3月良。
			電気機械製造	海外での受注が増えたという話を最近よく聞くから。
変わらない	家計	東青	百貨店	来店されるお客様の数がかかわらず前年に届かない。
			家電量販店	昨年秋口からの売上減少。幾分上昇しつつあるもののまだ前年レベルまで回復していない。
			一般小売店	売上のダウン率の割合が少しずつゆるやかな傾向になりつつある。
			商店街	一般家庭用品・衣類・住宅関係は現状で一応満足している。趣味で特別必要性を感じている高価な品物(車・カメラ・釣具・ハイキング関係等)は動いております。
			スナック	決してよくなりません。ですので変わりません。
			観光名所等	冬季は通常でも人の動きがにぶく、特に観光客はだめです。
			旅行代理店	前年対比売上が、100%を超える、もしくは近付きつつある店が以前より多い。
			ガソリンスタンド	今しばらくは上も下も向かない。特に良い悪いの話もきかない。
			住宅建設	雇用不安。
			津軽	スーパー
	衣料専門店	消費者の先行不安感。利息の減少(ほとんど0に近い)。		

変わらない

	都市型ホテル・旅館	宿泊客の館内利用率(レストラン等)は相変わらず低い。宴会に於いては営業努力により売上確保はしているが、単価アップはしばらく見込めない。低単価戦略のレストランは好調だ。
	旅行代理店	デフレの継続、消費能力の低下、建設関連業者の不況。
	パチンコ	入場者数、売上、利益率等を相対的に見て、過去の実績と比較した結果、横ばいである。
	住宅建設	今がボトムでこれ以上悪くなりようがないし、悪いようであれば日本の経済は破綻する(しているかも・・・)。官房機密費をあのよう溝に捨てるようでは・・・
県南	百貨店	店としての来店客数は少し増加したものの、お客様1人当りの買上げ単価が低いため。客数の増加は、店の対策で何とか増せるが、お客様の収入に変化が無いいため、客単価が依然として低く、景気が上向いているとは考えにくい。
	スーパー	1コ当たりの平均単価(約200円)は過去24ヶ月、連続して昨年同月を割り込んでいる。高いものは買わない。ムダ買いしない傾向が続いている。
	一般小売店	景気を左右する大きな動きが無かった。
	商店街	商店街内新店舗のオープンで、人通りは若干増えているように思う。
	レストラン	3ヶ月前とかわり様がありません。政府には特効薬も力もないようです。国民がひとりひとり頑張るほかはないようです。
	観光名所等	お客様が立ち寄りなくなりました。近所に道の駅ができたからだと思う。近辺に新しい店なので、ものめずらしさもあると思う。
	旅行代理店	利用顧客で倒産に至っているケースもなく、購買意欲も低い中での我慢状態に大きな変化は見られず、悪化しているとの印象はあまりない。
	タクシー	小泉内閣の改革路線を見守って居る感じ。
	設計事務所	商工関係者の間では、景気が変わった感じは無いと思う。
	住宅建設	東北新幹線八戸駅開業は12月、年明けには冬季アジア大会も本県を会場に開催がきまって、ホテル、貸ビル、店舗などの経済効果が期待されているが、目に見えた動きはない。また八戸駅周辺地域も動きは鈍い。
下北	一般飲食店	昨年とあまり変化がありません。これからは良くなるという風評はありますが、本当かどうかは今後をみなければわかりません。
	レストラン	リストラ、所得低迷の今、景気見通しはまったくなし。
	都市型ホテル・旅館	3月は送別会シーズンで、宴会売上が伸びはしたものの、4月に入ると、宴会についても例月どおりの件数に落ち着いている。
	タクシー	歓送迎会シーズンのタクシー乗降客は思った程増えず、いつもよりマイカー往来も多いようだ。景気は下向き傾向にあると言わざるをえない。これも一つに、暖かすぎるぐらいの良い天気にも恵まれた天候不順にあるのかも。
	ガソリンスタンド	原価輸入価1月17ドル、4月24ドルと急上昇。ガソリン11当5円値上がりになりますが、むつ市スタンド価格1191円、仕入価90円、全く利益なし。この状況続きますと倒産するスタンドが出ます。

変わらない	企業	東青	食料品製造	引続いての停滞感から脱却していないと考えます。	
			経営コンサルタント	中小規模主体ながら県内企業の倒産も続いており、全般的に経営体力の低下が否めない状況にあると判断される。	
			広告デザイン	厳しい予測が多い。	
		津軽	食料品製造	多少売上は上向きに見うけられるが、求人すれば今までには考えられないほど求職者があるので、どちらとも言えない。	
			飲料品製造	例年より早い雪解けで、気分は明るくなっているが、周りの状況は依然と変わらず。	
			広告デザイン	依然として悪い状況からは脱しておらず。社員採用見合わせ、リストラ、廃業、倒産の話題ばかり。好転の兆しなし。	
		県南	飲料品製造	<ul style="list-style-type: none"> ・全国にチェーン展開している居酒屋、取扱メーカーに対して価格の見直しを強要。 ・家庭消費の缶容器では、発泡酒がビールを上回ってしまった様。 	
			雇用	津軽	新聞社求人広告
		県南	人材派遣	雇用形態を、直接社員採用型から、派遣を利用するという企業がじわじわと増えている。これは、長期雇用する自信がないという表れだと感じています。	
	新聞社求人広告		県南地区の景気は依然として最悪の状態。雇用環境は悪く、求人広告は昨年から過去最低の水準のまま。		
やや悪くなっている	家計	東青	一般飲食店	暖冬、小雪にもかかわらず、前年より売上げが若干落ちている。	
			観光型ホテル・旅館	12月以降、忘年会・新年会の数が激減した。	
			都市型ホテル・旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・景気上向きへの期待できるものがない。 ・逆に将来への不安(所得の減少、年金等)と行財政改革への遅れなどから個人消費は伸びない。 	
			競輪場	車券売上が減少している。	
			津軽	家電量販店	家電の柱である、テレビ、冷蔵庫等大型商品の売上が伸び悩んでいる。
		卸売業	中小建設業者の不渡り及び自己破産が増加。加えて、地元有力業者に対しても、様々な風評が出て来た。		
		一般飲食店	予約の料理の単価が下がっている。近所に閉店の店がふえている。明るい話しを聞かない。		
		スナック	昨年の12月にいらしたお客様が、4月になってもまだお目にかかってない状態です。		
		ガソリンスタンド	新人採用をハローワークに出していないのに、3月頃、今年卒業の高校生の面接、試験を何人もハローワークより頼まれた。		

やや悪くなっている	県南	設計事務所	先々の仕事がみえない。あったとしても、単価が非常に安い。	
		コンビニ	今年の就職難に伴い、新入社員数も各企業減少傾向にあり。日中来店される、フレッシュャーズの客数も少ない。又、お客様が購入される商品等の単価も下がってきている為。	
		衣料専門店	3月危機だ、これは何とか乗り越えたが次は6月危機だとはやしたてるので、足が地につかない。	
		卸売業	・歓迎会シーズンであるが、盛上りに欠ける。 ・特売商品や低価格商品(安くて良いもの)は好調であるが、売上・利益は依然として苦戦状態が続いている。	
		一般飲食店	日々客入りのバラツキが拡大しつつ有る。客入りの良い時と悪い時の傾向が予想できない。やはり来店頻度の減少につながっている感がする。当店では昨比102%ぐらいだが。	
		スナック	1, 2, 3月は呑む機会があり、少し売上向上。4月は出費の多い月、客の出足が少ない為。	
		パチンコ	売上高の減少。	
		ガソリンスタンド	浜関係で仕事が減少していると聞いている。建設、運輸も同様、等の理由。	
	下北	スーパー	お客様から「必要なものしか買わない」「なるべく出費をひかえてる」、良くこんなことが聞える	
		一般小売店	土木業のお客様から商品注文を頂くが、仕事が無くて取りに来れないと言う方が、2月、3月多数いました。また、給料日後のセールは売上を作っているが、その後のセールでは売上がいまひとつ。お金の余裕がなくなっているのでは?	
		スナック	都市部では回復に向かっているものの、地方では半年から1年位回復が遅れる。	
	企業	津軽	建設業	新規の受注が少ない。
			経営コンサルタント	成績不振な業績の中で、建設業や歯科の売上はやや持ち直し、不動産や製造及び飲食の売上がやや落ちている。
		県南	食料品製造	自社加工品の出荷数量が少なくなっている。単価も多少安くしないと売れない。全体的に消費の停滞感を感じる。
紙・パルプ製造			市況の悪化が続いている。当社のみならず、業界全体が減産を継続している。	
経営コンサルタント			良くない徴候(消費、雇用、金融不安、倒産)が多くなっている。	
雇用	東青	食料品製造	この3ヶ月間の売上がやや落ちているから。	
		人材派遣	派遣社員募集に多数の応募が見られ、リストラが進んでいる様子が伺われる。	
		新聞社求人広告	住宅関連広告の動きが鈍い。	
悪くなっている	家計	東青	求人情報誌	失業や雇用環境問題、企業の先行不安による投資の抑制及び銀行等からの借入難。
			スーパー	デフレ傾向が続いている。失業率が高く安定。有効求人倍率が改善されない。

悪くなっている		乗用車販売	4月以降になると給料が減るのでローンが組めない、先が見えないなどの声が多く、契約には至らない。	
		タクシー	業界全体の全ての数値が前月及び前年下回る。	
		設計事務所	同業種の方々の同一意見。	
	津軽	コンビニ	客単価の下落が続いている。	
		観光型ホテル・旅館	オフシーズンのため。	
	県南	乗用車販売	いつもの3月は新卒者の購入が有るが、今年はほとんど無いのに等しい。就職難がもろに反映された結果のような気がする。	
		観光型ホテル・旅館	4月、5月、ツアー(募集)の設定を去年より多く設定したが、軒並み集客不足のためキャンセルが入る。今後お客様の動向が不安だ。	
	下北	コンビニ	誘致企業の撤退や、大型店の倒産の影響など。	
	企業	東青	建設業	新年度に入って、土木関係は横這いだが、箱物については全く先が見えない。建設業にとっては体力勝負の生き残り競争時代に入った。
		県南	建設業	公共及び民間の工事発注減から大手ゼネコンを含めての競争が激化しており、受注しても利益確保が難しい状況になっている。
			広告デザイン	景気の状態をダイレクトに受けやすいのが我々の業種ですが、広告費の減少及び年間広告の縮小が著しい。また、コストを下げる工夫等を要求されるケースが多い。我々の場合、お客様が大企業の場合が多いのである程度は安定しているものの、新規のお客様を増加させないと、減少する可能性が多い。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由		
やや良くなっている	家計	東青	旅行代理店	需要を喚起することをしており、数か月前には動かない商品が、少しずつ動くようになってきている。		
			津軽	観光型ホテル・旅館	旅行の季節なのでいくらか希望があると思います。	
			県南	レストラン	気温の上昇が個人消費を刺激し、景気が良くなってくるのでは。虫が気温が上がると地面より出てくる様に、人間も上昇が販売増になるのではないのでしょうか。	
				住宅建設	今現在八戸駅周辺地域の動きは鈍いが、東北新幹線八戸駅開業にむけての波及効果を期待したい。	
	企業	東青	食料品製造	政府がデフレ対策に本腰を入れるのではないかという期待感からです。		
			津軽	飲料品製造	ペイオフ解禁無事通過、それも株式市場の株価上昇のおかげ。市場は経済の状況を先取り反映している。それに期待する。	
		県南	電気機械製造	各メーカーとも在庫調整は終わったようなので、徐々に回復が予想されるため。ただ、回復をけん引する原動力がないのが現実である。		
			電気機械製造	大手ハンバーガーチェーンやカジュアル衣料店はこれ以上の価格引き下げをやめるようであり、他業種にも波及して、昨年までの無意味な価格のたたき合いは徐々に収まっていくだろうから。物を作り、売ることに對し、適正なコストを支払うことの重要性(つまり、安さばかり追うと、失うものがあること)に、皆が早く気付けば景気は持ち直すと考えています。後は政治がしっかりしてほしい。		
			家計	東青	百貨店	お客様の数や買い方に大きな変化はないと思われる。
					乗用車販売	今の所景気回復の材料的なものがないから。サッカーワールドカップも青森には来ないから。
衣料専門店	購販増行動の継続を願っているが、裏づけとなる根拠が不足している。					
家電量販店	先行きに対する不透明感が依然として根強く、消費の回復には時間がかかると考えられます。					
一般小売店	売上のダウン率の割合が、少しずつゆるやかな傾向になりつつある。					
商店街	大型店の倒産、リストラ、経費の見直、助成金の削減、給料カット、教育費の増大等、家庭の財布が「要注意」になっている。					
レストラン	今までの月別のトータルを見ると、例えば1月は去年より悪いが、2月が去年より良いとか、このままで見ても、4・5.6月の売上のトータルは多分去年並みだと思う。					
観光型ホテル・旅館	新幹線開業までは、現状のまま推移するものと考える。					
都市型ホテル・旅館	不況なりに落ちついていくものと思う。(各企業とも生き残りをかけて努力している)					
美容院	お客様が少しずつ、専門的知識などを知ることになってきたので、変化を求めているような感じがする。					

変わらない

	ガソリンスタンド	暖い季節に向かっているので気持ちの上で良くなっている感じはあるが、現実はまだだ。
津軽	百貨店	まだまだ現状が続くそうである。購買意欲は高まっていると思われるが、すぐに結びつかないであろう。
	衣料専門店	景気上向く感じ無し。
	家電量販店	客単価の低下等が続き、依然消費が上向く気配もないように思える。暑い夏が来ると、変わると思うので、期待したいと思う。
	卸売業	悪い状況が続くと思われる。
	一般飲食店	景気が良くなるもとがない。
	レストラン	景気も最悪を通りこしたのでは。
	スナック	飲食の回数を減らして家で飲んでる人が多くなってる。
	都市型ホテル・旅館	「変わらない」を前提に、売上増は見込まず、経費圧縮の施策をしている。
	旅行代理店	インパクトのある政策がみえない。津軽地方は就職難、賃金の低下(ボーナスを含む)の回復が見込めない。
	パチンコ	3ヶ月程度では、変化は見られないと思う。当社に来店するお客様の中でも、失業している方が数多く見られ、見込みすらない状況であると伺います。さまざまな部品での改善が必要ではないでしょうか。
	設計事務所	公共事業及び民間の物件が少ない。
	住宅建設	13年度末の株価をみても回復の兆しが出てきたかも。未だ消費者の財布のひもはきつく警戒している。
県南	コンビニ	県としての政策(雇用問題・景気回復)は進んでいると思われるが、TV、雑誌等、メディアで見ると、日本の国会では、政治スキャンダルばかりで、本気に日本の雇用問題、景気回復に取り組んでいると思えない為。
	百貨店	今年は、新幹線開業、冬季アジア大会、ワールドサッカー等、地域や全国に関連する事があるが、地域としては、何か盛上りにかけている。この状況を考えると、何か大きく景気の変化するとは考えにくい。また、春闘時期ではあるが、良い話しは聞こえてこない。
	スーパー	季節指数に変わらないが、波が小さくなっている。人の異動(移動)マーケットも例年より少なそう。GWには期待があるが、昨年と相似形の波はいくらも小さめ。ベースアップゼロとか、明るい材料少ない。
	スナック	私ごとではありますが、33年営業での固定客があり、あまり変わらないと思う。
	旅行代理店	4~7月の当社の予約・見込み状況では、目標をクリアできる見通しで、感触としては、現状維持の状態に推移するのではないかと見ている。
	タクシー	小泉改革によって老後の不安が大きい様に思う。
	パチンコ	政策等による具体策がない。
	設計事務所	国の景気対策が成功する感じは無い。議員のスキャンダルだけが目立つ。
下北	スーパー	離職者が多く、仕事がないかと言う電話が良く有る。

変わらない

		一般小売店	景気も回復しつつある、とは言え、必要な物は買うし、不必要な物は買わない。今のお客様ははっきりしています。景気が良くなったと思える様子には、しばらくならないと思います。
		一般飲食店	今のところ、綱引きみたいに動きがない。どちらに動くかは、これからの政治をみなければ分からないので、こういう回答をしました。
		レストラン	プロ野球阪神が絶好調、このまま行けば地元大阪の景気は良くなっているでしょう。
		都市型ホテル・旅館	具体的な景気対策を政府が打ち出さない限りは、現在の閉塞感は長引くと思う。
		タクシー	地元誘致企業の倒産、新卒者の地元企業雇用の減少など失業者が増える傾向があり、景気の早急な回復が望めそうにない。
		ガソリンスタンド	建設業界でも公共工事減で中級の建設業者2 - 3社倒産する可能性もあります。
企業	東青	経営コンサルタント	個人消費低迷に加え、県内雇用情勢も低水準にて推移。現状では抜本的な対策も見出されておらず、好転の兆し見えない。
		広告デザイン	アメリカの経済回復の好影響が出てくると思うが、今年度後半になってからだと思う。
	津軽	食料品製造	依然、消費者は財布のヒモがかたい。
		経営コンサルタント	売上の減少見込みの企業より、売上の増加見込みの企業が増える傾向にある。
	県南	飲料品製造	・客単価が500円ほど下がっていて、低価格販売が自己目的化している。 ・好材料はないし、これ以上悪くならんたいたくないというのが本音。
		紙・パルプ製造	牽引役となる様な業界が見当たらない。また、米国の景気回復が本格化して、日本経済が好転するとしても、年の後半以降と思われるため。
		建設業	景気回復が望めず、加えて地公体の財政悪化もあり、工事発注量は更に減少するものと思われ、競争の激化はもとより、財務体質の弱い企業の整理、淘汰が進むものと考える。
		経営コンサルタント	景気刺激策もなく、良くなる理由が無い。
	下北	食料品製造	3月危機と言われた状況を越え、これ以上の落ち込みはないと信じたから。
	雇用	東青	人材派遣
新聞社求人広告			流通関係全般に景気回復感の兆しがみえない。出稿につながってこない。
求人情報誌			改善対策が見出せない。短期間での改善は無理。ただし、夏に向けて期待。
津軽		新聞社求人広告	各企業も余力がなくなったのか、広告宣伝へ回す資金を減らしてきている。本来、景気が悪ければこそ宣伝に力を入れるはずが、今は「がまん」といった姿勢がこのまましばらく続くのでは・・・。

変わらない		県南	人材派遣	企業を訪問していて、大きな動きが今のところ見られない。現状維持がやっと、というのが大半ではないでしょうか？
			新聞社求人広告	当面明るい話題もなく、新幹線開業関連もこれといって目に見える具体的動きもなく、盛りあがりには欠け、現状のまま推移しそう。
やや悪くなっている	家計	東青	スーパー	いわゆる「3月危機」は何となく過ぎた感じ。つまり景気が良くなって、3月危機を乗り切ったということではない。いわば「不安の先送り」である。
			一般飲食店	ペースアップがなく、逆に引下等。
			競輪場	車券売上が増える要素が見あたらない。
			設計事務所	好転する材料が見いだせない。
	津軽	乗用車販売	3月の津軽地区の新車全体需用(登録車)が前年比1割以上、下まわった。今後もしばらく続くと思われる。	
		一般小売店	120%からさらに上向いていくとは考えられない。平成12年4月～13年3月が底であったような気がする。	
		ガソリンスタンド	旧中心商店街のしにせと言われる店が廃業や倒産が増え、空店舗が増えてきたが、かわって入る店もなく、シャッター通りと化している。	
	県南	乗用車販売	メーカー予測で、今年も市場は厳しいとの情報が有る。下方修正が考えられる。お客様の声を聞くと、賞与が多く出たら購入を検討する、とのこと。現実を見定めてからか？	
		衣料専門店	中東での紛争が長引きそうな感じで、石油原油価格が上がりそう。	
		一般小売店	東北北部を中心に、中小の電子部品組立工場(大手下り)や縫製工場が多く点在していますが、それらが縮小・撤廃が続き、じわじわと物販に響くと考えています。	
		卸売業	現在の経済・市場状況も大きく変化する状況になく、このような状態が続くと思われるが、企業においては、よりスリム化する為、さらなるリストラが進むことが予想される。	
		一般飲食店	やはり政治の不安が一番ではないだろうか。	
		観光名所等	このままではだめなので、今対策を考えている。観光バスをよびこむ。イベントを多くする。	
		ガソリンスタンド	浜関係で仕事が減少していると聞いている。建設、運輸も同様、等の理由。	
下北	スナック	都市部では回復に向かってはいるものの、地方では半年から1年位回復が遅れる。		
企業	津軽	建設業	新規の受注が少ない。	
		広告デザイン	現況の経済状態を変える要素は、皆無というのではなく、例え小さな要素でも、大きく育てるパワーが国全体になし。政界人の問責ニュースを嘆いてばかりで、経済の前進が感じられない。	
	県南	食料品製造	行楽シーズン(アウトドア)到来で、3月、4月と荷動き良いはずが今年はさっぱりです。桜が早く咲いても、荷動きは例年より悪い。今後もだめ。	
		広告デザイン	従来の広告予定が、コスト面から縮小されたり、取りやめになる場合が現状で見えている。また、通常参加してもらえる企画等も、なかなか受注できない場合が多い。	
悪くなっている	家計	東青	スナック	ぜんぜん先が見えない状況です。とにかく私なりに頑張るのみです。

悪くなっている		タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・これから3ヶ月先観光シーズンの季節になるが、小雪でシーズンのずれ込みによる。 ・規制緩和による大手、新規参入。 ・循環バスの導入増による利減。 	
	津軽	コンビニ	好転する材料が見当たらない。失業者数、就職難 - 特に若年層 - などを判断すると、全体としての可処分所得は減少すると思われる。	
	県南	観光型ホテル・旅館	4月に関しては、予約状況が去年と比べ現時点では6割程度。連休も旅行者に出している提供室が空いている。5月の3,4日も同じ。(弘前の桜の開花がそれ以前ということが原因と思う)。	
		下北	コンビニ	失業者が増加すると思う為。
	企業	東青	建設業	政治主導で経済の再生を計るべき時期に、つまらないスキャンダルの連続で、足の引っ張り合いしている状況は、昭和恐慌時の再現の様。従って、日銀短観による景気底入れ発表はマヤカシにしか聞こえない。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

	平成 1 3 年		平成 1 4 年	
	7 月	1 0 月	1 月	4 月
合 計	14.0	13.1	13.7	16.8
家計関連	15.7	14.2	16.7	18.3
小売	11.7	13.3	17.9	19.2
飲食	12.5	9.1	18.8	20.8
サービス	21.3	15.7	16.3	17.4
住宅	16.7	20.8	8.3	12.5
企業関連	8.3	6.9	4.2	11.1
雇用関連	10.7	17.9	7.1	16.7

回答別構成比 (%)

	良い	やや良い	どちらとも 言えない	やや悪い	悪い
平成 1 3 年 7 月	0.0	2.0	7.0	36.0	55.0
平成 1 3 年 1 0 月	1.0	0.0	7.1	34.3	57.6
平成 1 4 年 1 月	0.0	2.1	8.2	32.0	57.7
平成 1 4 年 4 月	1.1	0.0	8.8	45.1	45.1

地区別 D I

	平成 1 3 年		平成 1 4 年	
	7 月	1 0 月	1 月	4 月
合 計	14.0	13.1	13.7	16.8
東青	12.5	13.3	10.8	15.7
津軽	20.0	15.8	17.2	18.3
県南	9.2	10.8	12.9	13.4
下北	15.0	11.1	13.9	25.0

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由回答
家計	東青	一般飲食店	先の見通しが利かない。
		家電量販店	お客様の購買態度が、慎重で、顧客単価が伸びない。
		観光型ホテル・旅館	個人指向が強くなり、団体客が少なくなりました。コンベンション活動が期待されます。
		商店街	最近都市部では、高齢化社会対応型として、中心市街地の生活に便利な場所に居住するのが目立ってきております。
		乗用車販売	平年の3月決算期であれば、土・日のショールームはかなり活気があったが、今年はどうしたものか・・・閑散としていた。
		スナック	不景気を早く少しでも良い方向にしたいのですが・・・
		都市型ホテル・旅館	高齢化の中で老後への不安を除去される政策を、もっと前面に出すべきと思うが。(例えば、年金等は国が責任をもつという安心感)
		美容院	お客様の消費に対する考えが二分化しているように感じる。貧富の差が少しずつ出ているように感じる。
		レストラン	新町通りに次々と新しい店が出来てきているが、自分たちのジャンル(フランス料理)はさほど変化がないような気がする。青森は新しい店ができるとすぐみんなで行ってみようと思うが、一回行けばよいという人が多いと思う。だから、1つの店が3~5年位ですぐ変わってしまうし、長くは続かないような気がする。
	観光名所等	今のところ観光業はかわりはない。今年12月の新幹線八戸で上ってもらいたい。でも結果は来年でしょう。	
	津軽	一般飲食店	弘前郵便局の道路から山道町に道路を延ばして、何のメリット・活性化があるのか疑問です。
		一般小売店	従業員の募集を職安にしたところ(3月)、ものすごい数の応募があった。まだまだ急に良くならないと思った方がよいと思う。
		衣料専門店	上土手町(弘前)土地の価格競売に連動して、かなり値下がりにしている。
		卸売業	自己破産の増加に伴い、債権回収が進まない。
		ガソリンスタンド	イスラエル、パレスチナの紛争の影響で石油価格の上昇が著しい。長びけば、日本経済への影響は大であると思う(3月末より10日位でガソリンの1ℓ価格が7円位上昇した)。
		家電量販店	大型テレビの招待会を2月、3月実施したが、お客様に決定できる場を与えると、成果が出るので、お客様に購入決定できる特別の機会を与えることが大事だと思っています。(単価50万強でも購入してくれる)
		観光型ホテル・旅館	3月~4月の歓送迎会、特に学校関係が大変少なくなりました。又、お客様の出足が遅くなっています。
		設計事務所	同業者の廃業、関連事業者の倒産が目立ってきています。
		都市型ホテル・旅館	日本ホテル協会からの退会ホテルが全国的に増えている。
パチンコ		大型店の進出があり、非常に厳しい状況ではあるが、企業努力によって乗りこえてまいりました。今後も継続的に努力し、営業する。	
旅行代理店	建設業界の落ち込みが目立つ。市街地域での商業活性化の努力の結果が出ていない。		
レストラン	近くで飲食店の閉店が多々見られる。		
県南	一般飲食店	繁華街から大手スーパーが撤退と発表となり、更に街中の空洞化が進み、この先、危機感が一杯で有る。悪い所ばかりではない筈で、良い所の情報も刺激材料としてどしどし流してほしい。	

	一般小売店	八戸市中心商店街(十三日町)の大手スーパーが撤退との発表があり、大きな話題となっています。閉店セール等で一時的に数字は出るでしょうが、中・長期的には大きなマイナス要因となることは間違い無いと思います。
	乗用車販売	取引先の話だと、社員の採用を控えてパート化を進めている。特に、女子事務員を減らしているとの事。但し、営業だけはそうはいかない。
	スーパー	「普段のもの」を扱うスーパーだけに、それほど景気不景気は身の回りでは感じない。勝ち負けがはっきりして来ており、閉店と業態業種変更が頻発。
	タクシー	十和田市に道の駅も出来、予想以上に好調。又、テレトラックも出来て、これが市内の景気につながればと願って居る。
	百貨店	大手スーパーが来年閉店することが、新聞等で報道され、同じ商店街で営業しているため、先の話にはなりますが、商店街としての集客力がどうなるのか、また、その後何があるのか気になります。
	旅行代理店	海外旅行の相談・予約がここ2～3カ月位、増加傾向が見られ、回復基調になってきていると見受けられる。
	レストラン	内閣府の景気ウォッチャーでも回復の動きがみられるとのこと。頑張りましょう。
	観光名所等	近所にできた道の駅で、これほど左右されるとは思っていませんでした。
下北	一般飲食店	小泉内閣も下がりっぱなしで、これからの日本の政治・経済もどう変化するのか、一喜一憂している毎日です。
	一般小売店	下北のある町で、先日土木作業員の解雇がありました。次の月からその地区の各店はかなり売上を落としたといえます。景気の回復には、やはり雇用の確保、デフレ対策が重要課題であると考えます。雇用があれば、若年層の他地域への流出も少しは減少するのではないのでしょうか。
	コンビニ	パチンコ店の増加、大型スーパーが減少、コンビニが増加しつつある。
	タクシー	最近、わが町内会では衣料品などのゆずり合いが目立って多くなりました。物の大切さの認識が高くなった事と、長期にわたる景気の悪さから感じられる対応の一つではないでしょうか。
	レストラン	是は是、非は非に取り組み、国民の声に耳を傾けてほしい。景気の良い声を早く聞きたいですね。
企業	東青	
	建設業	最早、お上(行政)があてにならない時代なので、個々の企業が時代の変化に即応した経営ができるよう、如何に社内体制や人を改変育成できるかが、生き残りの条件と考える。
	広告デザイン	派遣業者も大手の進出で営業活動が活発である。派遣料金も当社に比し割高の感じである。
	津軽	
	飲料品製造	例年になくりんご市場が振るわず、かなりの在庫が生産者、出荷関係者の手元にある様子。下降業者も在庫過剰になっているのでは。
	経営コンサルタント	年度末の金融庁の調査を無事乗り切った金融機関と企業に安堵感が見える。
	広告デザイン	暮しの中での町内会において、新築ホームからの移転、生活から"ゆとり"を失い、町内行事への不参加者が年々増えているように思える。勤務先での様々な変化により、圧迫され続ける日々の生活が最大の原因なのでは。
	食料品製造	若者の失業者が多いのは、将来の日本において非常にマイナスであると思う。
	電気機械製造	中国の躍進に脅威を感じる。
	県南	
	紙・パルプ製造	発泡酒の売上が好調の様子。種類が増え、いろいろ選べるようになったことで、安さと嗜好から更に売れそうな気がする(ビールは減少済み)。
	経営コンサルタント	雇用に対する不安が充満しているのではないか。不景気と云われながら倒産が少ないように思う。
	建設業	資材販売やリースなどの営業、来社が増加している。工事量減少の影響と思われる。
	広告デザイン	八戸市の場合、新幹線の開通にともなう新しい仕事や、商工会議所等から発注になる仕事が発生しているが、プレゼンテーション型が多いので、クオリティーの差で明確になる会社、ならない会社ははっきりしている。

		食料品製造	水産加工品は、5月～9月まで毎年厳しい状況が続きますが、去年の秋に東京営業所開設、今後の展開で少しでも良くなればと思っております。
		電気機械製造	隣の岩手や秋田に比べ、工場の大規模な閉鎖が青森では起こっていない(少ない)。これはもともと大工場が進出していなかったこともあるが、青森には何かよい部分があるからだ、という気がしています。賃金は低いけれども、そんなに捨てたものでもないんじゃないでしょうか。
	下北	食料品製造	近頃の食品の不祥事は、デフレ、安売りから生まれたことだと感じています。
雇用	東青	求人情報誌	スーパー業界のリストラがすすんでいる。
		人材派遣	県内大手スーパーの開業効果に期待大。
	津軽	新聞社求人広告	弘前市近郊でとらえれば、天候異変に桜の早咲きがほぼ確定。桜まつりで従来200万人観光をあてにしている商売も、今年は苦戦。さらに景気に追い打ちをかけそう。
	県南	人材派遣	接客サービス業に従事している人間の質の向上が必要と思う。経営者は危機感を持っているのだろうか？売上upには、まず、接客マナーだと思うが、このままでは、新幹線開通で八戸に人が流れてきても、恥ずかしいだけだと感じる。
		新聞社求人広告	中心街の大型店が来年4月以降に撤退を表明。中心商店街の空洞化にますます拍車がかかりそう。先行きの不安感が増大した。また、倒産や撤退の受皿もない。